

平成23年度 岐阜県中学校総合体育大会バスケットボール競技

【試合結果】

女子		Aコート		決勝		NO 5																	
日時	平成23年8月2日		火曜日		12:10	～	13:20																
会場	飛騨高山ビッグアリーナ																						
結果	1	 86		{ <table border="0"> <tr><td>14</td><td>-</td><td>15</td></tr> <tr><td>19</td><td>-</td><td>13</td></tr> <tr><td>27</td><td>-</td><td>16</td></tr> <tr><td>26</td><td>-</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table> }	14	-	15	19	-	13	27	-	16	26	-	16		OT		 60	16	大垣東中学校 西濃地区 1 位	日枝中学校 飛騨地区 1 位
14	-	15																					
19	-	13																					
27	-	16																					
26	-	16																					
	OT																						
審判	主審	佐藤 高一		副審	加藤 明子																		

【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手 空欄=出場なし

大垣東中学校		西濃地区 1 位					
選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則	
4 大橋 恵実	×	30	1	11	5	1	
5 国枝 葉奈	×	5	1	1		2	
6 梶川 依里花	×	19	3	5		2	
7 岩田 美香		0					
8 野尻 真希	×	9	1	3			
9 阿部 彩雲		0					
10 林 マリア	×	23	1	8	4		
11 安藤 綾香		0					
12 山本 春菜		0					
13 安藤 桃伽		0					
14 小林 祐里奈		0					
15 鈴木 紗綾香		0					
16		0					
17 長谷部 結依		0					
18 澤 菜々子		0					
C 河合 祐亮							
合計		86	7	28	9	5	

日枝中学校		飛騨地区 1 位					
選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則	
4 佐藤 志保	×	10		5		4	
5 原 晴美	×	16		7	2	2	
6 田下 礼華	×	11	3	1		2	
7 袖原 樹里華	×	15		7	1		
8 洞垣 瑞綺	×	8		4		4	
9 田村 彩純	/	0					
10 形部 智実	/	0					
11 森本 沙依子	/	0					
12 知手 千夏		0					
13 木戸脇 菜美		0					
14 井口 京香		0					
15 長瀬 まゆ		0					
16 田口 芽生		0					
17 山下 絵美菜		0					
18 原 清美		0					
C 野村 宏二							
合計		60	3	24	3	12	

【試合レポート】 戦評

新人戦・春季大会と同じ顔合わせとなった決勝戦。1Q, 両チームともマンツーマンDefでスタート。開始は互いに固さが見られ、シュートが決まらず2分間ノーゴール。重苦しい雰囲気や打破したのは大垣東中 #4 のミドルシュート。日枝中は #7 のシュートで応戦するがパスミスが多く、Offのリズムがつかめない。大垣東中は #6 の連続ゴールなどで差を広げ、残り4分7-2となったところで日枝中がタイムアウト。日枝中はそこからリズムを取り戻し、#7、#8 のバスケットカウントなどで得点を重ねて逆転し、14-15で1Qを終えた。2Q, 大垣東中はDefを1-3-1に変える。大垣東中は #6 のセンタープレーや3Pで得点を重ねる。対する日枝中はカットインを中心にバランスよく得点を重ね、一進一退の攻防となる。残り2分を切ったところで大垣東中が連続ゴールを決め33-28とリードを奪い返して前半を終える。3Q, 大垣東中1-3-1ゾーンDef, 日枝中マンツーマンDefでスタート。大垣東中の1-3-1ゾーンDefを攻めきれず、日枝中のシュートが決まらない間に、大垣東中は #6、#10 のゴール下のシュートなどで得点を重ね主導権を握る。日枝中は #5 のポストプレーを中心に攻めるが流れは変わらず、11点差となったところでたまたまタイムアウトをとる。4Q, 日枝中は、Defを2-2-1ゾーンプレスにし、流れを変えようと試みる。しかし、大垣東中は落ち着いたボール回しで得点を重ね、逆に引き離されてしまう。日枝中はルーズボールに必死に食らいつき、最後まで走り続けるが、#4 を中心に巧みなプレーで得点を重ね続けた大垣東中が、86-60で新人戦・春季大会に引き続き優勝を飾った。